

TAP（徳地アドベンチャー教育プログラム）指導者養成講習会

平成31年2月9日（土）～11日（月）

【目的】

「徳地アドベンチャー教育プログラム」（以下、TAP）の実習や講義を通して、チームビルド等の人間関係の構築や自己肯定感の向上を目的としたグループワークの指導者に求められる知識・技能を習得する。

また、本指導者養成事業は弊所の研修支援団体へのTAPの外部指導員の育成のカリキュラムの1つとし、外部指導員確保も同時に目的としている。

【参加者】16名

【プログラムの内容】

1日目

11:00 開講式、オリエンテーション
セッション①
13:30 セッション②
「アイスブレイク・ローエレメント」
19:00 セッション③
「理論、being」

2日目

9:00 セッション④
「ローエレメント」
13:00 セッション⑤
「ローエレメント等の特性」
19:00 セッション⑥
「理論、ルーブリック」

3日目

9:00 セッション⑥
「シーケンスについて」
13:00 セッション⑦
「シーケンスについて」
16:00 閉講式

セッション①



最初に参加者同士が何を求めて参加したのかを共有しました。そこから、お互いを知り、楽しいアイスブレイクをしました。

セッション②



午後からは、課題解決をメインに体験しました。グループの力を感じながら、「解決できないかも」という思いの中で、どのように関わっていくのかを体験しました。

セッション③



夜は、理論を学びました。TAPの裏側にはどんな理論があるのかを参加者同士が知識を出し合いながら意見をまとめていきました。

セッション④



1日目の天候が悪く、アドベンチャーフィールドで体験できなかったエレメントを体験しました。自分の声が届くことや支え合う事を体験的に学びました。

セッション⑤



午後からは、アクティビティやエレメントの特性をグループごとにまとめていき、ファシリテーションするための情報をまとめました。

セッション⑥



2日目の夜はグループを見る視点を確認し、評価基準をグループごとに確認しながらまとめていきました。

セッション⑦⑧



最終日は、仮想のグループに対しファシリテーションすることを前提にグループで組み立てました。

【参加者の声】

時間管理がしっかりできていて良かった。講師とのやり取りもしやすく、話しやすかった。また、困ったときも聞きやすい雰囲気があった。

学んだことがつながらず苦労したが、たくさんの情報が得られたので、これからまとめていきたい。

【成果と課題】

昨年度まではPAJの講師を招聘していたが、今年度はTAPの指導者養成講習会という事でTAPの指導に当たっている職員が指導に当たった。TAPの現状を踏まえて講習を進めることができたのは良かったと思う。

課題としては、参加者のほとんどが外部指導員の登録まで行っていないことである。